

キュウリの 変形果対策に！ カルシウム強化栽培！

体質強化！
品質向上！
食味向上！
鮮度保持！



果実の 96%が水分であるキュウリにはカロチンとビタミンCが僅かに含まれており、発がん物質の活性を抑制する効果がある低カロリーで機能性の高い野菜です！！

【硫酸カルシウム肥料】



カルゲン®

【粉状・粒状】 15 kg入り

キュウリ栽培の特長

- ◆ 栽培適性の土壌 pH は 5.5~7.2 の弱酸性~中性
- ◆ 土壌は水分状態が保てれば各種土壌で栽培が可能
- ◆ 品質・収量は適正な水分管理が重要なポイントとなる
- ◆ 生育適温は日中 25℃、夜間 15℃前後、生育限界温度は 5℃で 0℃になると凍害を受ける
- ◆ カルシウム欠乏と一概には言えませんが、曲がり果・くくれ果・尻細り果・尻太り果等の対策としてカルゲン是有効な資材の一つである
- ◆ キュウリ栽培において栄養素としてのカルシウムは果実よりも健全に生育するために茎や葉に多く含まれている

養分吸収量（収穫 1 トン当たり） kg

チッソ N	リン酸 P ₂ O ₅	カリ K ₂ O	カルシウム Ca	マグネシウム Mg
2.4	0.9	3.4	2.8	0.8

カルゲンとは・・・

- ◆ カルシウムとイオウが結びついた石膏（農業用石膏）を主原料に製造したカルシウム特殊肥料
- ◆ 酸性のカルシウム肥料ですから土壌の pH が上昇することなく、連用することで土壌を団粒化して、有効微生物の繁殖を促す
- ◆ 石灰類（炭カル）に比べ約 170 倍水に溶けやすく、作物に吸収されやすい水溶性のカルシウム肥料
- ◆ 作物が健全に生育するために必要なカルシウムの養分補給に最適
- ◆ 特に、窒素過剰による生育障害を軽減（拮抗作用）

カルゲン施用量（当社推奨基準）

	施用方法	施用量	備考
元 肥	全面土壌混和	4～6 袋/10 a	定植前（他の肥料と同時施用）
追 肥 1	畝間に施用	2 袋/10 a	3 段目交配後頃
追 肥 2	土壌灌水・葉面散布 （ネオカル水和剤又は カルゲンβ液剤）	100～150ℓ/10a 1,000 倍液	各段数毎に 農薬と混用可能 （銅剤・アルカリ剤を除く）

☆ 上記の施用量は標準です。土壌診断を基準に施用量を増減してください。

☆ 酸性土壌の場合は石灰類等を加用してください。

☆ 詳しくは、お近くの販売店または営農指導員の方へお尋ねください。

《総販売元》



吉野石膏販売株式会社